

## 平成 27 年度学力調査結果

本校 6 年が 4 月に実施しました全国の学力調査、5 年が 7 月に実施しました東京都の学力調査の結果についてお知らせいたします。

### (1) 6 年生「全国学力・学習状況調査（全国）」…国語・算数・理科

#### 【国語】

平均正答率 (%)

分類	区分	国語 A (主として知識)			国語 B (主として活用)		
		本校	都	全国	本校	都	全国
領域	話すこと・聞くこと	<b>76.1</b> ↑ ↑	57.4	53.0			
	書くこと	<b>97.8</b> ↑ ↑	87.7	86.0	<b>69.9</b> ↑ ↑	62.2	61.1
	読むこと	<b>67.4</b> ↑ ↑	59.0	55.2	<b>77.5</b> ↑ ↑	68.6	68.1
	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項	<b>76.6</b> ↓	78.6	77.2			
観点	国語への関心・意欲・態度				<b>64.7</b> ↑ ↑	55.7	55.4
	話す・聞く能力	<b>76.1</b> ↑ ↑	57.4	53.0			
	書く能力	<b>97.8</b> ↑ ↑	87.7	86.0	<b>69.9</b> ↑ ↑	62.2	61.1
	読む能力	<b>67.4</b> ↑ ↑	59.0	55.2	<b>77.5</b> ↑ ↑	68.6	68.1
	言語についての知識・理解・技能	<b>76.6</b> ↓	78.6	77.2			
問題形式	選択式	<b>78.0</b> ↑ ↑	69.4	66.4	<b>76.1</b> ↑ ↑	71.1	68.6
	短答式	<b>71.4</b> ↓	75.2	73.7	<b>89.1</b> ↑ ↑	81.5	80.8
	記述式				<b>64.7</b> ↑ ↑	55.7	55.4
全体		<b>74.7</b> ↑	72.3	70.0	<b>73.9</b> ↑ ↑	66.5	65.4

#### 【算数】

平均正答率 (%)

分類	区分	算数 A (主として知識)			算数 B (主として活用)		
		本校	都	全国	本校	都	全国
領域	数と計算	<b>86.0</b> ↑ ↑	81.4	80.1	<b>47.8</b> ↑ ↑	45.3	42.4
	量と測定	<b>77.5</b> ↑ ↑	73.6	71.3	<b>47.1</b> ↑ ↑	44.6	41.7
	図形	<b>75.0</b> ↑ ↑	69.2	64.5	<b>55.0</b> ↑ ↑	48.5	45.6
	数量関係	<b>94.6</b> ↑ ↑	85.4	84.9	<b>48.6</b> ↑ ↑	45.8	43.0
観点	算数への関心・意欲・態度						
	数学的な考え方				<b>42.8</b> ↑ ↑	38.6	35.3
	数量や図形についての表現・処理	<b>84.2</b> ↑ ↑	78.2	77.2	<b>62.0</b> ↑	60.7	58.7
	数量や図形についての知識・理解	<b>81.6</b> ↑ ↑	76.8	73.6	<b>83.7</b> ↑ ↑	76.2	74.9
問題形式	選択式	<b>78.3</b> ↑ ↑	73.8	70.5	<b>79.0</b> ↑ ↑	72.7	70.6
	短答式	<b>84.8</b> ↑ ↑	79.0	77.3	<b>50.4</b> ↑ ↑	45.9	42.2
	記述式				<b>37.4</b> ↑	34.7	32.5
全体		<b>82.7</b> ↑ ↑	77.4	75.2	<b>52.0</b> ↑ ↑	47.8	45.0

【理科】

平均正答率 (%)

分類	区分		理科 (主として知識)			理科 (主として活用)		
			本校	都	全国	本校	都	全国
全体			<b>67.1 ↑ ↑</b>	62.4	60.8	<b>52.0 ↑ ↑</b>	47.8	45.0
分類			<b>本校</b>	都	全国	・全国の平均正答率より高いものには太字で↑ (1本) を、5%以上高いものには↑↑ (2本) を付けています。 ・全国の平均正答率より低いものには太字で↓ (1本) を、5%以上低いものには↓↓ (2本) を付けています。		
学習指導要領の区分等	A区分	物質	<b>66.8 ↑ ↑</b>	59.6	57.4			
		エネルギー	<b>72.8 ↑ ↑</b>	66.5	65.6			
	B区分	生命	<b>65.6 ↑</b>	62.0	61.2			
		地球	<b>63.0 ↑ ↑</b>	60.1	57.8			
観点	自然現象への関心・意欲・態度							
	科学的な思考・表現		<b>66.8 ↑ ↑</b>	62.4	60.5			
	観察・実験の技能		<b>60.9 ↑ ↑</b>	57.1	55.5			
	自然現象についての知識・理解		<b>76.1 ↑ ↑</b>	69.0	68.6			
問題形式	選択式		<b>68.0 ↑ ↑</b>	64.5	62.9			
	短答式		<b>73.9 ↑ ↑</b>	64.6	63.6			
	記述式		<b>55.1 ↑ ↑</b>	47.9	45.3			

(2) 5年生「児童・生徒の学力向上を図るための調査 (東京都)」

…国語・社会・算数・理科

【観点別の調査結果 (正答率 %)】

教科	A 教科の内容									
	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		技能 (国語：書く)		知識・理解		読む	
	本校	都	本校	都	本校	都	本校	都	本校	都
国語	<b>87.7 ↓</b>	88.8	<b>81.2 ↑ ↑</b>	74.2	<b>66.7 ↑ ↑</b>	60.8	<b>64.9 ↑</b>	61.3	<b>59.8 ↓</b>	63.2
社会	<b>92.0 ↑</b>	89.1	<b>68.2 ↑</b>	59.9	<b>66.4 ↓</b>	67.7	<b>52.3 ↑ ↑</b>	44.3		
算数	<b>78.9 ↑</b>	80.2	<b>61.5 ↑</b>	59.9	<b>60.9 ↑ ↑</b>	68.5	<b>69.2 ↓</b>	69.5		
理科	<b>90.0 ↓</b>	92.0	<b>64.4 ↑</b>	59.9	<b>74.1 ↑</b>	72.0	<b>74.8 ↑</b>	73.2		

教科	B 読み解く力に関する内容					
	取り出す力		読み取る力		解決する力	
	本校	都	本校	都	本校	都
国語	<b>59.1 ↑</b>	54.9	<b>4.5 ↓ ↓</b>	6.0	<b>40.9 ↑</b>	37.8
社会	<b>46.6 ↓ ↓</b>	57.2	<b>46.6 ↓ ↓</b>	52.4	<b>29.5 ↓</b>	32.6
算数	<b>80.0 ↑ ↑</b>	73.9	<b>18.9 ↓ ↓</b>	24.2	<b>32.2 ↓ ↓</b>	37.9
理科	<b>61.1 ↑</b>	59.9	<b>54.4 ↓</b>	55.5	<b>54.4 ↓</b>	55.8

全体	A:教科の内容		B:読み解く力	
教科	本校	都	本校	都
国語	<b>70.2 ↑</b>	67.1	<b>34.8 ↑</b>	32.9
社会	<b>64.8 ↑</b>	60.1	<b>40.9 ↓ ↓</b>	47.4
算数	<b>66.6 ↓</b>	67.9	<b>43.7 ↓</b>	45.3
理科	<b>73.0 ↑</b>	70.4	<b>56.7 ↓</b>	57.1

- ・都の平均正答率より高いものには太字で↑ (1本) を、5%以上高いものには↑↑ (2本) を付けています。
- ・都の平均正答率より低いものには太字で↓ (1本) を、5%以上低いものには↓↓ (2本) を付けています。

6年生の学力調査では、昨年同様、どの教科の全体正答率も東京都及び全国の平均正答率よりも上回りました。5年生の学力調査では、国語科の全体正答率は都の平均正答率を上回りましたが、算数は都の平均正答率を下回りました。また、社会科と理科では上回ったものと下回ったものがありました。

## 国語

<分析>

6年生の学力調査の国語Aにおいては、「漢字を正しく読むこと」はほとんどの児童が正答していますが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、全国の平均正答率を下回りました。国語Bにおいては、どの観点においても全国の平均正答率を大きく上回りました。

5年生の学力調査では、都の平均正答率をほぼ上回りましたが、国語Bの「読み取る力」は都の平均正答率より大きく下回りました。

<考察・改善>

意見文や感想文などを書く機会を積極的に設けたり、作文や意見文などで習った漢字を活用したりしていきます。また、問題を何度も読み返したり、段落ごとの要約をしたりするよう指導をしていきます。

## 算数

<分析>

6年生の学力調査の算数Aの「数と計算」の領域では、全国の平均正答率を大きく上回り、算数Bにおいても全国の平均正答率をほとんどの項目で大きく上回りました。

5年生の学力調査では、算数A・B共に都の平均正答率を下回りました。特に算数Bでは「取り出す力」「読み取る力」が共に大きく下回りました。

<考察・改善>

問題を読み取ったり、学習したことを生かして解決したりする力を付けるために、日常の学習において問題を解くだけでなく、解き方について言葉や図、式などを用いてノートに書いたり、説明したりする指導を継続していきます。

## 理科

<分析>

6年生の学力調査では、全国の平均正答率を大きく上回りました。しかし、顕微鏡の名称・操作において、無回答率が高く、操作方法の設問では全国の平均正答率を下回りました。

5年生の学力調査では、ほぼ都の平均正答率と同様でした。

<考察・改善>

適切な実験の条件を考えることができた児童が5・6年共に少なかったので、観察・実験器具の名称と使い方、実験中の条件を考えたり、整理したりできるように指導していきます。

## 社会

<分析>

5年生の学力調査では、社会Aはほぼ都の平均正答率を上回りました。しかし、社会Bでは3項目共に都の平均正答率を下回りました。特に、「取り出す力」「読み取る力」は大きく下回りました。

<考察・改善>

特に正答率の低かった問題は、「自分たちが通う小学校がある区市町村の位置と名称を理解できているか」（正答率約25%）、「地域の方の祭りへの願いを読み、今後の祭りの在り方について推論することができるか」（正答率約8%）でした。発達年齢に応じて系統的、継続的に地域について身近に学ばせ、経験や体験学習と結びつけて学習を確かなものにしていきます。また、資料を根拠として活用し、読み取る力を向上させていきます。

学力調査結果分析を基に、「平成27年度 学力向上を図るための全体計画」を授業改善推進プランとして、ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

